

## 大枠の評価基準（案）について

### 1. はなバスの運行目的

はなバスは既存の路線バスではカバーしきれない公共交通空白地域・不便地域を中心にルートを設定しており、交通利便性の地域格差をなくし、利用者の利便性向上を目的としたコミュニティバスである。

公共交通空白地域・不便地域の解消

補完的  
役割



健康応援  
都市

西東京市の施策

### 2. 評価指標の選定理由

前回会議より、様々な評価指標を洗い出し、その中で収支率と利用者数を候補とした。

収支率を評価指標とした選定理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収入と経費のバランスを評価できる。</li> </ul>
利用者数を評価指標とした選定理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・走行距離が長く、経費が高い路線であったとしても、利用者が多い可能性がある。</li> <li>・敬老回数券利用者や一般以外の利用者が多数利用される路線では、収入に結びつかない可能性がある。</li> </ul>

### 3. 各評価指標の数値目標の設定について

<p>基準となる収支率の数値目標</p> <p>■目標収支率：70%</p> <p>【目標数値の設定条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車両減価償却費及び臨時経費は除く。</li> <li>・収入は利用者数×150円で算出する。（利用者によって変動する運賃の統一化）</li> </ul> <p>【目標収支率の設定根拠】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「西東京市使用料・手数料等の適正化に関する基本方針」より、公費負担割合 0～30% としていることから、最大値を上限に設定した。</li> </ul> <p>【参考資料】 A3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 26 年度～平成 28 年度の収支</li> <li>・平成 29 年度以降の将来予測</li> </ul>
<p>基準となる利用者数の数値目標</p> <p>■議論したい点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はなバスの運行目的に合った評価項目の選定</li> <li>・基準となる数値目標の設定</li> </ul> <p>【参考資料】 A4</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1 便あたりの利用者数（人／便）</li> <li>・1km あたりの利用者数（人／km）</li> <li>・定員あたりの利用率（%）</li> <li>・その他</li> </ul>

■全体スケジュール（案）

実施内容		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
①	評価基準の選定	選定						
	大枠の評価基準		収支率	妥当性を評価				
②	各評価指標の数値目標の設定		利用者数を把握し、設定	妥当性を評価				
	地域性を考慮した評価基準（案）の策定		ルート別の特性を把握し、策定					
③	調査		実施			実施		
④	運行評価			評価	評価	評価	評価	評価
	改善計画			実態把握			実態把握	
							計画（案）の作成	
					実施	検証		実施